



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2019年12月20日

発行NO 2019 - 25号

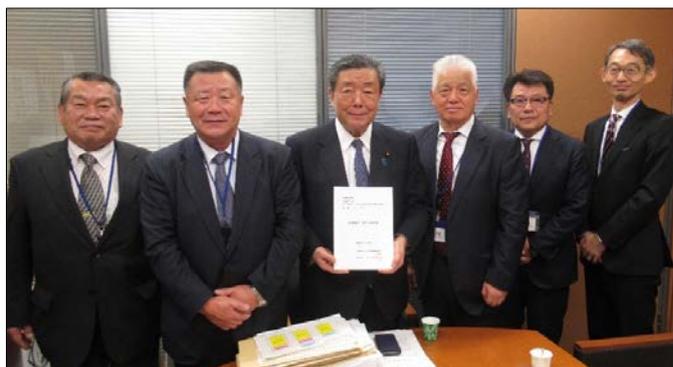
令和2年度予算・令和元年度補正予算の予算編成作業が最終段階 全日畜は役員が国会議員への要請を実施

全日畜の重点要請

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 安定した労働力の確保に係る支援 | 4 CSF・ASF等に係る対策支援 |
| 2 スマート畜産の推進に係る支援 | 5 畜産環境対策に係る支援 |
| 3 自然災害に強い畜産経営に係る支援 | 6 国産飼料原料の安定的確保に係る支援 |

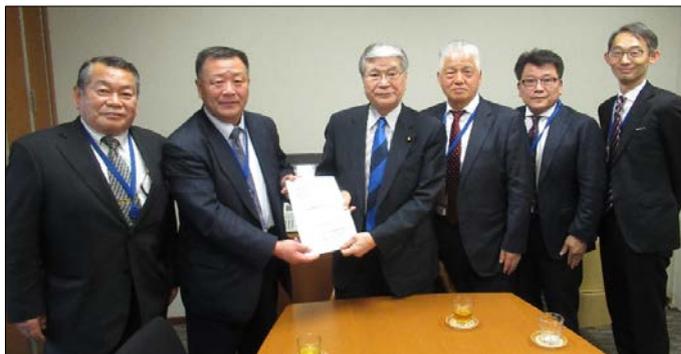
◎ 自民党の衆議院議員 森山 裕 先生に要請 (12月18日 11:00～)

全日畜は、自民党の貿易交渉の対策本部長である 森山裕 議員を訪問して万全な国内対策等について要請を行った。議員は和牛・乳用牛の増頭・増産対策として増頭奨励金の交付等を考えていると説明。全日畜からは予算規模が大型になるハード事業の工期の実態等を説明し改善を要請。



◎ 自民党の参議院議員 野村哲郎 先生に要請 (12月18日 13:00～)

全日畜は、自民党の農林部会長である 野村哲郎 議員を訪問して畜産生産現場の実態に即した諸対策について要請を行った。議員は、本予算・補正予算とも大型で必要不可欠な支援策を組み入れたと説明。全日畜からは中小の生産者を後押しする支援について現場の実態を説明して要請。



◎ 農林水産省生産局の 渡邊 毅 畜産部長を表敬 (12月18日 9:30～)

全日畜の金子理事長ほか一行は、7月に就任された渡邊毅 畜産部長を表敬。公務多忙な中、畜産部長室で対応いただいた。渡邊部長は、家畜伝染病の水際検疫強化や台風15号等の災害による復旧・復興費等を盛り込んだ補正予算を確保したと説明。



(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

第4回「理事会」を開催

- ・令和元年の全日畜活動についてレビュー
- ・JRA事業「スマート畜産」について自己評価

◎ 全日畜は、12月18日（水）第4回理事会を開催し、今年度の全日畜活動等について点検を行いました。

◎ 昨年度から開始したJRA事業（通称：スマート畜産事業）が、今年度で終了することから、事業実施主体としての「自己評価」を行った。各理事からは、多くの成果を発現した、組織の体力強化も図られた、等の意見が出されました。

◎ 令和2年度のJRA事業への新規事業の応募も決定しました。



（金子理事長から今年の諸活動の評価が明日に繋がると挨拶）

第3回「運営委員会」を開催

- ・「第二世代の全日畜の在り方」の評価・点検
- ・「小委員会」を組織して具体的な検討を

◎ 全日畜は、12月12日（木）、第3回運営委員会を開催し、昨年度全日畜が10年の節目を迎えたタイミングで取りまとめた「第二世代の全日畜の在り方」（今後10年の組織運営等の方向性）について、1年間の事業実績等を踏まえて、現時点での点検・見直しを行いました。

◎ 委員会では、重要課題の深掘り検討を開始する時期が来たとの判断で小委員会を組織して検討を開始することにしました。



（「次世代の全日畜の在り方」を真剣に議論する運営委員会）

東北ブロックで管内基金協会理事長会議を開催（青森県十和田市にて）

- ・借入金完済後の基金制度の在り方
- ・CSF対策、ワクチン接種についても議論

◎ 11月12日（火）、東北6県の基金協会理事長会議が青森県で開催されました。

◎ 商系3団体はそれぞれ最近の話題を提供。岡本工業会会長、高橋専務理事、引地全日基常務理事等が参加。

◎ 借入金の完済が現実化し、その後の基金制度の在り方等が議論されました。



（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）